様式-1-2

受付番号：21-906

疫学研究・臨床研究に関する情報の公開について

研究課題名

DPC データベースを用いた、消化管疾患の短期成績・長期予後に関する多施設共同観察研究

研究計画

(1)背景・意義

消化管疾患やそれに伴う検査・治療は多岐にわたり、より多くの情報を用いた研究が診療指針の確立に必要と考えられています。そこで今回、入院医療費算定に用いる情報を複数の病院から収集し、どのような患者さんがどのような経過をたどったかと調べるために臨床研究を行うことになりました。

(2)目的

消化管疾患で入院診療された患者さんのうち、患者さんの状態や治療がどのように転帰に影響するのかを明らかにすることです。

(3)方法

この研究は多施設共同観察研究というもので、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則り、東京警察病院臨床研究審査委員会の承認を受けて、東京警察病院長の許可を受けて実施されます。

DPC(Diagnosis Procedue Combination)制度とは入院医療費を包括支払方式に移行するために本邦で導入された制度です。

多施設の DPC データを集約し、どのような患者さんがどのような経過をたどったかを統計的に調べます。各施設から得られたデータは東京大学医学部附属病院で統合され、個人が特定されないよう管理されます。

患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

個人情報の取り扱い

本研究の目的を達成するために必要な範囲を超えて診療録からの個人情報を取り扱いません。また、得られた情報は個人が特定されないように匿名化した上で、細心の注意を払い安全に管理します。
なお、本研究により得られる研究結果は個人が特定されることはない形でまとめます。

連絡先

東京警察病院　消化器科　小椋啓司